

令和5年9月23日（土）、第3回まちなかエリアにぎわいづくりワークショップが開かれ、19名の参加者が4つのチームに分かれ、小出まちなかのまちづくりの方向性をふまえながら、現在の小出郷図書館の将来的な利活用について考えました。

図書館の役割

まちづくりの方向性をふまえながら、小出郷図書館の今後の役割として「どのような目的の施設にするか?」「主な対象者は誰か?」を話し合いました。

図書館の利活用（案）

現地見学を行い、その感想を話し合いながら、図書館の1~4階 + 屋上で利活用案について話し合い、4チームそれぞれの個性的な提案がまとまりました。



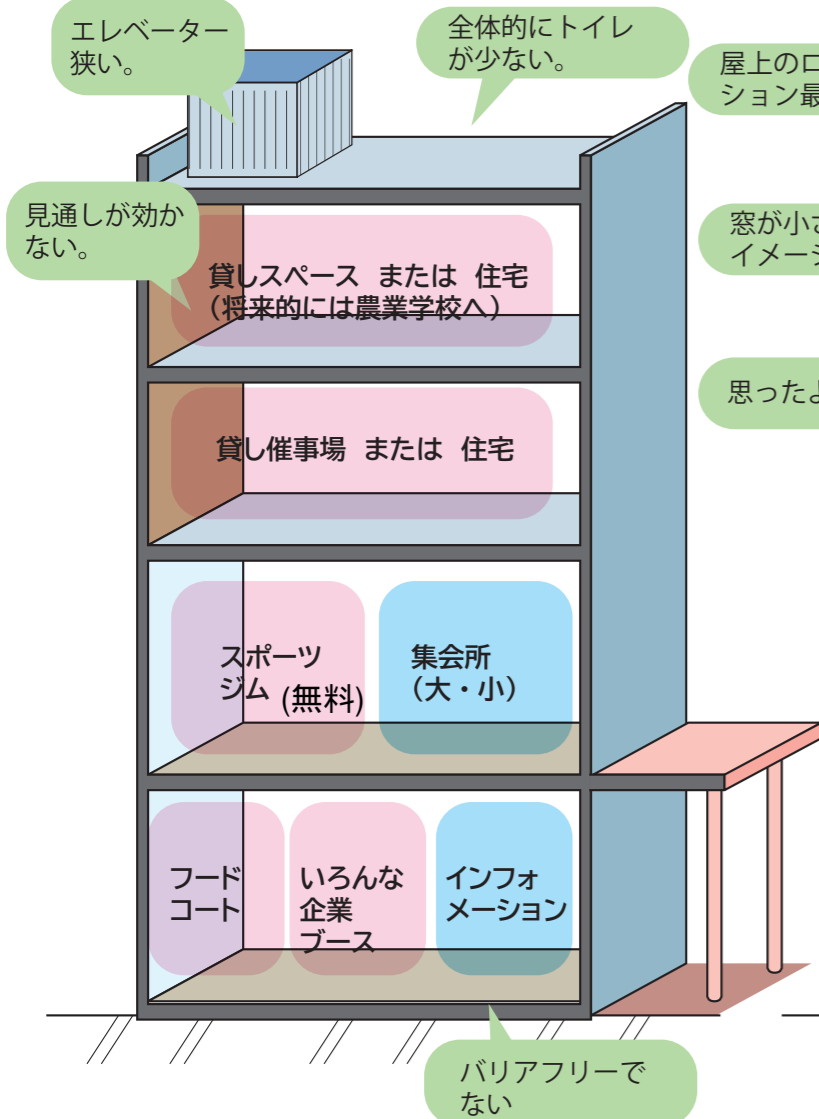
小出まちなか まちづくりの方向性

- 「おいしい・楽しい」を核とした賑わいを創出する
- そのため小出まちなかの、賑わい・憩い・学び・遊びに関する魅力を高める。
- 出店者を応援できる仕組みも検討する。

チームA

継続して人が集まる施設

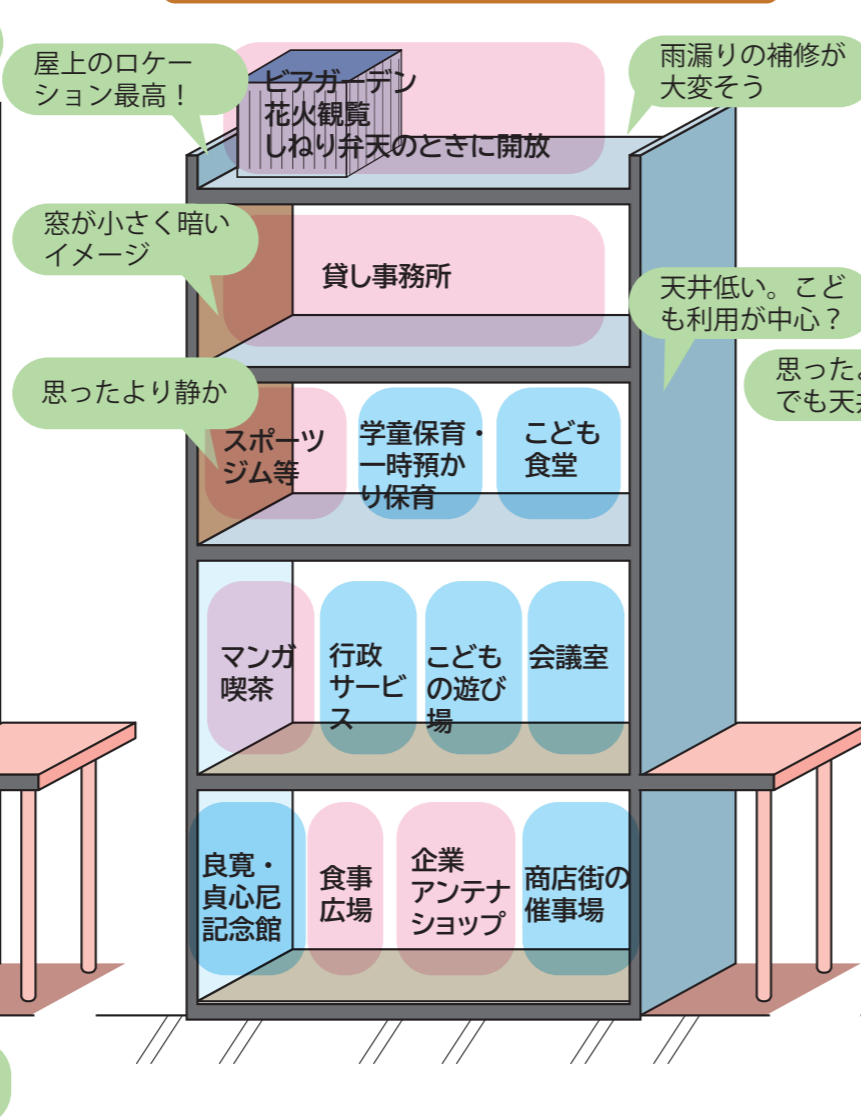
主な対象者：市内の人を中心に市外も含めた老若男女



チームB

毎週末にイベントする施設 / 商店街を補完する施設 / 眠らない施設 / 観光客向け施設

主な対象者：1F観光客、2~3F子ども、4F大人



チームC

集客・にぎわい・おいしい

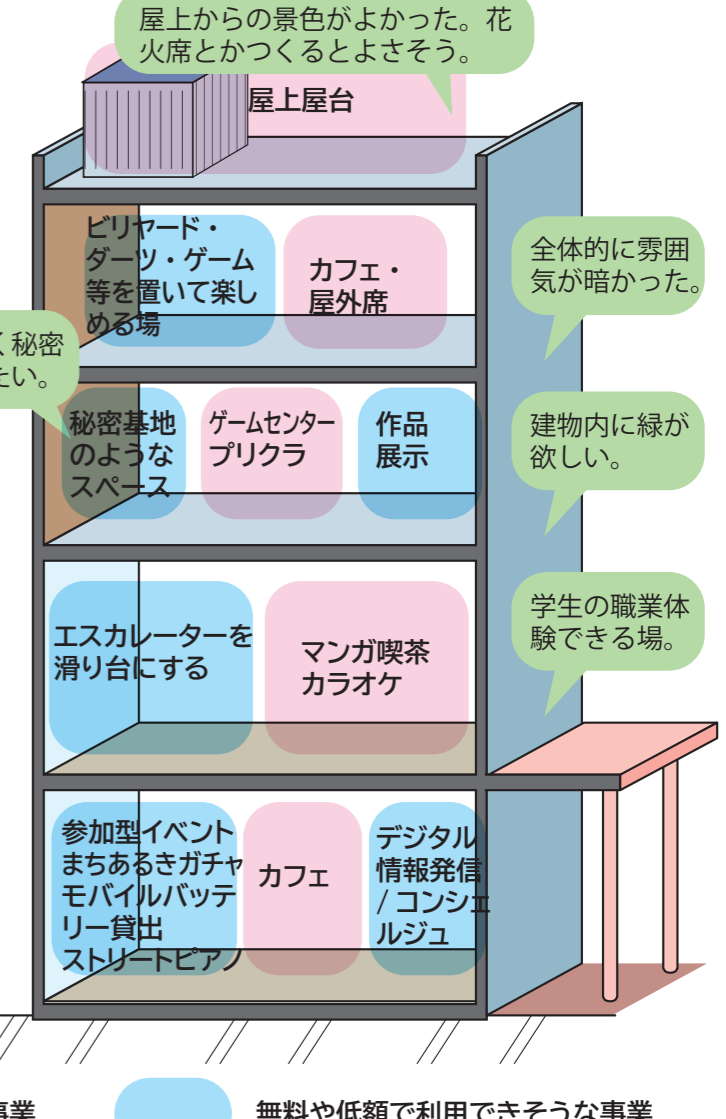
主な対象者：若い人（キッズ・パパ・ママ）



チームD

いろんな世代の人が集う場所

主な対象者：未来ある方々、若者を中心



収益化できそうな事業

無料や低額で利用できそうな事業